

様式第3号

会 議 録

会議名 (審議会等名)		平成21年度 第2回 川西市青少年問題協議会		
事務局 (担当課)		こども部子育て室 青少年支援課 内線(3441)		
開催日時		平成21年11月9日(月) 午前10時～11時30分		
開催場所		市役所 4階 庁議室		
出席者	委員	大塩民生、益満良一、江見輝男、福岡少年係長(楠田一英代理)、細見幸己、武村雅樹、井上克己、中村健次、深田政宏、森脇幸枝、中井成郷、若松省吾、高木佳子、澁野敏彦、戸松嘉宏、宮路尊士、岩木信夫、田村嘉規、佐伯直樹		
	事務局	こども部長 後藤哲雄 子育て室長 藪野俊介 青少年支援課 課長 小倉光 主査 小西裕之 主任 畑山貴英 教育振興部 青少年センター所長 上中敏昭 社会教育室 指導主事 長船幸夫		
傍聴の可否		○可・不可・一部不可	傍聴者数	0人
<small>傍聴不可・一部不可の場合は、その理由</small>				
会議次第		1. 開会 2. 委員の委嘱について 3. 会長あいさつ 4. 協議事項 (1) 青少年の表彰について (2) 平成22年川西市PTCA青少年フォーラムについて (3) 青少年ふれあいデーについて 5. その他 各団体からの活動報告・事務連絡 6. 閉会		
会議結果		4. 協議事項 (1) 「青少年の表彰」被表彰者(案)で承認 (2) フォーラム開催経費の年度比較について確認 平成22年PTCA青少年フォーラム開催要領(案)で承認 (3) 川西市「青少年ふれあいデー」実施要綱(案)で承認 実施内容について確認		

審 議 経 過

1. 開会（10:00）

欠席者・代理出席の確認

欠席：川西保護区保護司会 会長 古谷委員

川西市体育協会 会長 今北委員

代理：川西警察署長 楠田委員に代わり、少年係長の福岡氏

2. 委員の委嘱について

任期：平成23年6月30まで

江見委員・楠田委員を委嘱

3. 会長あいさつ（大塩民生 市長）

4. 協議事項

協議事項（1）青少年の表彰について

事務局 10月26日に青少年の表彰選考委員会が開催されたことを報告。協議の結果、別紙のとおり個人7名3団体を被表彰者として提案する旨を説明。

選考委員を代表して委員より選考委員会での協議の経緯を説明。

委員 資料1に沿って説明。
個人9名3団体の被推薦者について協議。
うち2名については、

- ・年齢が25歳を超えている。
- ・市外に在住在勤。

の2点の理由から不適と判断した経緯について説明。

被表彰者候補者の個人7名3団体について表彰内容を紹介し、表彰理由を説明。

委員 表彰に反対するわけではないが、表彰の在り方・定義が分かりにくいように思います。いろいろな人に与える、多くの人に与えるという趣旨なのか、今後に期待を持って与えるという趣旨なのか、そのあたりの定義がはっきりしていません。コミュニティ団体に「いい人を推薦してくれませんか」と推薦依頼を送ってこられますが、これを見ていると、どこのコミュニティも推薦しないといけないのかなという気になってきます。

1年間の活動でも今後の期待を持って表彰するのか、長い期間いろいろと

	<p>活動しているから表彰するのか。その基準というのをはっきりしていません。</p> <p>部活動は中学校は3年間ですから、2年ごとに表彰してあげないと、同じ活動をしていても、もらえない学年が出てきてしまいます。</p> <p>貢献度というのがよく分かりません。吹奏楽部は各コミュニティで、どんと祭りなどにも出てもらっていますが、こうなるといつも推薦を出さなくてはいけなくなってしまいます。</p> <p>表彰の基準をどこに置いたらよいのでしょうか。コミュニティ会長を預かっているものとしてはつらい。</p> <p>事務局として、基準をどう考えていますか。</p>
事務局	<p>川西市青少年問題協議会「青少年の表彰」要綱および留意事項の中に、表彰の範囲及び基準をあげていますが、年数については特に定めたものではありません。</p> <p>毎年、コミュニティを含めた各団体にこの要綱・留意事項を送付し、これに沿った活動をされている方・団体を推薦してもらっています。</p> <p>そして、この基準に沿って、選考委員に選考してもらっています。</p>
委員	<p>選考委員を何年かしていますが、過去の表彰では、団体の場合に重複が見られ、「去年ももらっていた」というようなことがありました。そういうことは避けるべきであるという意見があり、中学校の場合、同じ子が2回もらうということを避けるために、部員が入れ替わる3年はあけたいと思います。</p> <p>小学生については、特に連続何年というのはなかなか決めがたく、次につなげてもらえるように、これをきっかけに、中学生になっても続けてもらいたいという願いもこめて、被表彰者として提案しています。</p> <p>青少年育成団体については、ある程度年数を経過しており、またその団体内での活動だけではなくて、その活動で培ったものを地域に根ざした活動に活かしている方を推薦してもらえるように、各団体に強くお願いしております。以前は、推薦者が一人で良かったのですが、二名以上の推薦がもらえるように推薦書の書式を変えています。</p>
会長	<p>要綱および留意事項に選考基準が書かれていますが、推薦をしてもらうときには、推薦者にこの基準をもう少し周知していただくように配慮が必要です。</p> <p>次回の協議会でこのことについて提案してもらいたいと思います。</p>
委員	<p>コミュニティの方に「誰かいい人がいませんか。」と推薦書を送るだけでは、基準が伝わりません。この基準が分かっている人は推薦をするが、分からない人は推薦をしないでは、部活動で表彰をもらっている学校ともらって</p>

	<p>いない学校が出てきてしまいます。基準をしっかりと伝えないと推薦する側は判断しづらい。</p> <p>1年の内に何回活動しているのか、次に期待しているだけなのか、何年も活動していてこれからも続けるのか、などの基準がよく分かりません。明確な基準をいただきたい。</p> <p>推薦書の送り方にも問題があるのではないのでしょうか。送られてくるだけでは、その基準はよく分かりません。分かっている者だけが推薦するのでは不公平になります。</p>
部長	<p>委員から貴重なご意見をいただきましたので、基準については事務局で検討し、相談させていただきます。</p>
会長	<p>今回の表彰についてはこの提案どおりとし、基準については次回に提案してもらいます。また、選考委員の皆さんには、ご意見をいただくこともあるかと思いますが、よろしくお願いします。</p>
委員	<p>表彰されるのは何組ということが決まっているのでしょうか。7名3団体というのはとても多いように思いますが。</p>
課長	<p>特に決まっていません。表彰者の多い年、少ない年があります。</p>
委員	<p>もう少し少なくてもいいのではないのでしょうか。出せば通るといえるのはいかなるものなのでしょうか。もう少し重みがある方がいいと思います。</p>
会長	<p>逆の発想をすれば、裾野が広がるという考え方もできます。両方の意見があります。選考の段階で議論をしてもらえればと思います。</p> <p>いろいろと議論をされましたが、今年は提案されている個人7名3団体を表彰するというところでよろしいのでしょうか。</p>
事務局	<p style="text-align: center;">承認される</p> <p>協議事項（2）平成22年川西市PTCA青少年フォーラムについて</p> <p>資料7ページに沿って、フォーラムの開催経費の年度比較について説明。</p> <p>平成18年度までは市青少年問題協議会と市PTA連合会がそれぞれに開催。</p> <p>平成19年度から共催。</p> <p>共催になった理由</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ・同じような趣旨で行われているフォーラムであるため ・開催時期がどちらも1～2月で近いため ・単独開催よりも多くの動員数が見込まれるため ・出演者が似通っているため、共催した方が日程調整が容易であるため ・予算を効率的にかつ効果的に執行できるため <p>平成20年度は、PTAがPTCA活動報告書を外部発注されたことにより事業費が増加した。</p> <p>今年度は、市民ミュージカルのステージ操作料、人件費が増えたが、その他の経費を削減することで全体の経費を抑えた胸を説明。</p>
会長	<p>この件について、何かご意見・ご質問はありますか。</p> <p style="text-align: center;">委員異議なし</p>
事務局	<p>10月26日にフォーラム実行委員会を開催したことの報告。</p> <p>フォーラム実行委員会を代表して、実行委員長より協議内容の報告。</p>
委員	<p>資料4ページに沿って、平成22年川西市PTCA青少年フォーラム開催要領について説明。</p> <p>ミュージカルというのは、舞台上で演じた人だけでなく、裏方、会場もみんな盛り上がるものだと感じています。</p> <p>「本番がすごく良かった。だからもう一度できるんだ。」という子ども達の自信がすごく感じられます。練習がすでに始まっていますが、子ども達は肩の力がぬけ、声が良く出ていて、とても楽しんでいるのが伝わってきます。</p> <p>PTA連合会としても出演や裏方で協力します。子ども達の前向きな夢を会場が一体となって感じられるような雰囲気作りに努めたいと思います。</p>
会長	<p>提案のとおりフォーラムを開催してもよろしいですか。</p> <p style="text-align: center;">承認される</p>
会長	<p>市民ミュージカルが非常に関心を浴びていますが、フォーラムを機会に青少年の問題に多くの方に関心を持ってもらえるように、参加の呼びかけについてご協力をお願いします。</p> <p>協議事項（3）青少年ふれあいデーについて</p>

事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・資料9ページに沿って、川西市「青少年ふれあいデー」実施要綱（案）について説明。 ・別紙資料「青少年ふれあいデー」啓発チラシ及び関連コンクールチラシについて趣旨の説明。ロゴについては、市と提携している宝塚造形芸術大学の学生により制作された。 ・委員にも協力を依頼。 ・資料11ページに沿って、街頭啓発活動について説明。 ・川西市青少年センターだよりの説明。
委員	<p>11月13日に防犯協会の川西猪名川住民大会がみつなかホールで開催されます。そこでもアピールされるといいのではないのでしょうか。</p> <p>青少年センターでは補導委員が120名いらっしゃいますが、川西防犯協会にも補導員20名ほどおり、年5回ほど啓発に回っています。時間が合えば、青少年センターとも合同で啓発するなど、取り組みを進めていけたらと思います。</p>
委員	<p>青少年育成市民会議理事会が10月26日に開催されました。青少年ふれあいデーについても意見交換を行いました。</p> <p>各小学校区に青少年ふれあいデーののぼりを配り、設置しています。また、啓発用のティッシュも各小学校区で配ってもらい、青少年ふれあいデーのPRを進めているところです。</p>
会長	<p>今年度からの事業で新しい形でのスタートを切っておりますので、皆様のご意見を賜りながら進めていきたいと思っております。ただ、一朝一夕にはいきませんが、いろんな手法でやっていきたいと思っておりますので、どうぞ協力よろしくお願ひします。</p> <p>11月15日第三日曜日には、街頭啓発活動を予定しています。地域のいろいろな行事が開催されますし、クリーンアップ作戦や一庫マラソンとも重なっておりますが、相乗効果が出ればと思っております。</p>
	<p>5. その他</p>
会長	<p>各団体からの活動報告について、8月の協議会にも皆さんにご報告いただきましたが、その後の活動について、何かございましたらご報告をお願いします。</p>
委員	<p>10月に更生保護女性会の全国大会に行ってきました。その中で話題になりましたのは、「地域におせっかいなおばさんがいない。」ということでした。</p>

	<p>更生保護女性会は、子育てが終わっている人ばかりですから、「おせっかいなおばさんになってほしい。」と言われた次第です。昔は、地域にそういう方々がいらっしゃいましたが、現在では、みんな見てみぬ振りをするという風潮ですから、そういうことにも取り組み、地域であたたく守れるような状況を作っていきたいと思います。</p>
<p>委員</p>	<p>川西市子ども会連絡協議会では、デイキャンプを開催し、飯ごう炊飯をしてきました。低学年30組が参加しました。協議会に加入していないところからも7組来られていました。県の方から、子どもの手による子ども会活動が奨励されており、今回20名の子どもスタッフを募集しました。月に1度くらい集まり、今回のデイキャンプの企画を子どもに任せました。「飯ごう炊飯したい」ということになりまして、場所設定やカレーライス予算立て、ゲームの内容についても子ども達に任せて、企画書を作成させました。はちやめちやなところもありましたが、高学年が低学年のお世話をする場面も見られ、大変良い結果になりました。</p> <p>これからも、子ども達の手による活動をしていきたいと思いますが、この協議会で何度も言っていますが、こういった活動をお手伝いしようという気持ちで参加する子ども達、親御さんについては、何の問題もありませんが、ただ子どもを預けるだけという親御さんについては問題があり、今回のことについても、細かな注文や批判をされる親御さんがおられました。こうした親御さんの問題についてももっと取り組めたらいいなと思います。</p>
<p>会長</p>	<p>青少年問題とは少し離れるかもしれませんが、今年度、新型インフルエンザが猛威を振るっており、学級閉鎖が多数出ておりますが、状況報告をいただけますでしょうか。</p>
<p>委員</p>	<p>小・中学校合わせて先週までで185件程の学年・学級閉鎖が出ております。ある小学校では、同じクラスが3回学級閉鎖になっています。そのため、授業時数の確保に努めているところです。</p> <p>感染力が非常に強く、ある小学校では自然学校に出発したときには、発症者が0人で行っているのに、2泊3日で帰らざるを得ないような状況になってしまいました。あっという間に広がってしまうようです。ただ、幸いなことに、重症化した子どもはいません。タミフルやリレンザの服用で完治しております。</p> <p>先だって報道でもありましたように、伊丹市の小学校2年生の児童がなくなりました。金曜日、元気に登下校したのに、次の日に発熱し、その日の夕方には死亡、既往症もなかったということです。</p> <p>私達としては、校医と相談しながら、学級閉鎖の基準や閉鎖日数など、そ</p>

	<p>それぞれの現場の状況に応じて決めているところです。</p>
会長	<p>このインフルエンザの影響で、いろいろなイベントが中止になっております。少し先のことですが、1月30日にPTCA青少年フォーラムについても心配されると思いますが、共通の課題として、手洗い・うがいの励行を勧めていきたいと思ひますし、予防接種につきましても、市として案内をしていきたいと思ひます。</p>
委員	<p>補導委員会の研修で9月に姫路に行ってきました。姫路のゆかた祭りです。いろいろと取り組みをされていて、非常に荒れていた子どもたちを更生させて、おとなになって奉仕活動するまでに育てられたという取り組みのお話を伺いました。ご家族を犠牲にされたり、警察やいろんな団体との連携でここまでできたというすばらしい取り組みで、非常に参考になりました。</p> <p>青少年ふれあいデーの啓発ということでいろいろと取り組みをされていますが、12月14・15日には、補導委員全員で川西能勢口周辺でパトロールをする予定です。</p> <p>伊丹市・川西市で中学生の逮捕者が出ました。今年初めて、伊丹市で合同補導を行いました。これからも他市とも協力していきたいと思ひます。</p> <p>昔でしたら子ども達は家の固定電話で連絡をし合うので、誰が出るかわからないという状況でしたが、今は子ども達も携帯電話を持ち、それぞれで連絡を取り合うので、行動範囲が広がっています。そこで、子ども達に携帯電話を使わせない、あるいは、学校に持ち込ませないという動きもありましたが、家に帰れば、小学生でも携帯電話を持っているという時代です。便利になるというのはいいことですが、おとなはそういった面も考えなければと思ひています。</p>
委員	<p>新型インフルエンザの学級閉鎖の日数や基準をそれぞれの現場で決めているということですが、閉鎖した時に授業が遅れた場合についての対処は、校長会などで話し合われていますか。</p>
副会長	<p>5月の一斉休業の場合は、夏休みや冬休みの短縮などで全市的に対応しています。今回の場合は学校・学年・学級ごと、あるいは中学校では教科ごとによって変わる可能性があります。教育委員会事務局ではデータを取り調査を行っています。その結果をもとに、各校長先生に検討してもらい、授業時数確保について対応を進めてもらっています。</p> <p>ただ、中学校の場合、980時間の授業時数を確保しなければならないのですが、もともと授業時間が余分にありますので、それでクリアできる部分もありますが、各学校ごとによって変わってきますので、各学校ごとに対応せざるを</p>

	<p>得ません。</p> <p>もう一点大きな課題としましては、中学3年生の入試について非常に懸念される所です。自治体単独では、し難い問題もありますので、阪神教育事務所長を通じて、県レベルあるいは阪神レベルで統一した見解を示してもらおうように進めております。</p> <p>これから冬場になって季節型インフルエンザの流行が懸念されますが、その対応も含めて、各学校ごとに委員会が対応していかなければならないと考えております。</p>
<p>委員</p> <p>副会長</p>	<p>校長会で話し合うのではなく、教育委員会が各学校の先生方と話をされていくということですか。</p> <p>もちろん校長会でも議論されますが、学校ごとに事情が違いますので。</p> <p>もう一点、授業時数の確保について、今後の対応をどうするかという問題もあります。閉鎖の基準を緩和するという方法も考えられます。</p> <p>医師会とは密接な連携を取っているところですが、8月の終わりに医師会の会長・副会長・役員の方々に相談して、2学期から、本来なら閉鎖期間が7日間のところを川西市では5日間にしたり、新型インフルエンザに感染している疑いのある子どもの人数が10%で閉鎖にしていたところを15%くらいと基準を緩和しています。</p> <p>また、感染した子どもについては、医師会の方で治癒証明を発行してもらい、それを持って登校可として対応しています。</p> <p>その他の緩和策として、症状があまり広がっていないと思われる場合は、通常翌日から5日間の閉鎖のところを、当日から5日間の閉鎖とするなど、学校ごとに工夫もされています。</p> <p>ただし、授業時間の確保については、学校ごとに事情が違うので、校長会で決めるのではなく、教育委員会で個々に応じて協議していきたいと考えています。</p>
<p>委員</p>	<p>インフルエンザの対応については、現時点での対応であって、今後については、予測できません。</p> <p>小学校では、学級閉鎖の回数が各校によって違います。それぞれ対応が違ってきますが、何らかの対応をするということでは校長会でも話し合っています。5時間目までのところを6時間目までにしたり、個人懇談の時にも、5時間目まで授業をしたりと少しでも授業時間を確保するという対応をしています。</p> <p>ただ余剰時数が80時間くらいあり、学級閉鎖が2回くらいまでなら対応できますが、少しでも多くということで、先ほど延べたような努力を各校さ</p>

事務局	<p>れているという状況です。</p> <p>しかし、例えば3月に猛威を振るったら、どう取り返すのか、ということは大変懸念されます。阪神大震災のときのような特例を考えなければいけないこともあるかもしれません。</p> <p>諸連絡</p> <ul style="list-style-type: none">・フォーラムのチラシを12月下旬ごろには作成し、委員に配付する予定。・フォーラム実施終了後のアンケート結果については、何らかの方法で委員にお知らせする。・青少年ふれあいデーの啓発コンクールの作品コンクールについて、市内からたくさんの応募があるように、PRの協力依頼。
会長	<p>閉会のあいさつ</p> <p><u>6. 閉会（15：30）</u></p>